

Press Release

報道用資料

2008年1月24日

台湾の自動車商品魅力度ランキング、トヨタとホンダが優勢**2007年台湾自動車商品魅力度(APEAL)調査**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、略称：J.D. パワー、代表取締役会長兼社長：J.D. パワー 4 世）は、2007 年台湾自動車商品魅力度調査（Automotive Performance, Execution and Layout、略称 APEAL）調査*の結果を発表した。*昨年までは台湾自動車商品性評価調査として実施。

当調査は台湾の新車所有者を対象に車両の購入後 2～6 ヶ月間における車の性能、デザイン、装備、仕様などに関する商品魅力度についてユーザー評価を調べるものである。

自動車の特性を「外装」、「内装」、「収納とスペース」、「オーディオ/エンターテインメント/ナビゲーションシステム」、「シート」、「空調」、「運転性能」、「エンジン/トランスミッション」、「視認性と運転安全性」、「燃費」の 10 カテゴリー（ファクター）に分類し、約 100 項目について実際に所有しているモデルを評価してもらう。

10 回目となる今回は、2007 年 7 月に郵送調査を実施し、2006 年 12 月から 2007 年 5 月の間に新車を購入した約 6,000 人の個人ユーザーから回答を得た。調査対象となった車両は 12 ブランドの 50 モデルである。

トヨタ・ブランド車が3セグメント、ホンダ・ブランド車が2セグメントでトップ

今回のセグメント別ランキングは、ランキングを実施した 8 セグメント中、トヨタ・ブランドのモデルが 3 セグメント、ホンダ・ブランドのモデルが 2 セグメントでトップに立った。

トヨタ・ブランドは、プレミアム・コンパクトカー・セグメントで 2007 年に新規市場投入されたヤリス（1,000 ポイント満点中 812 ポイント）、エントリー・ミッドサイズカー・セグメントでトヨタ・ヴィオス（796 ポイント）、MPV セグメントでトヨタ・プレビア（834 ポイント）が第 1 位となった。ヴィオスは 2 年連続の 1 位である。またトヨタ自動車のモデルとしては、レクサス・ES がラグジュアリーカー・セグメントで 2 年連続第 1 位となった。スコアは 908 ポイントで、今回の調査ですべてのセグメントを通じて最も高かった。

ホンダ・ブランドでは、SUV セグメントで 2007 年フルモデルチェンジのホンダ・CR-V（868 ポイント）、ミッドサイズカー・セグメントで 2006 年フルモデルチェンジのホンダ・シビック（829 ポイント）が、それぞれ 2 年連続で第 1 位となった。

他、1.6L エンジンを導入したヒュンダイ・ゲッツ（777 ポイント）がコンパクトカー・セグメントで、フォルクスワーゲン・パサート（862 ポイント）がプレミアム・ミッドサイズカー・セグメントで第 1 位だった。＜参考：3 ページのランキング表＞

2007 年の業界平均スコアは 798 ポイントで、2006 年に比べて 18 ポイント向上した。今回の業界平均スコアの向上は、新型車やフルモデルチェンジ車が高い評価を得たことと、既存モデルでも向上が見られたことの両方による。既存モデルの 3 分の 2 で 2006 年からスコアが上がっていた。

これについて、当調査を担当した J.D. パワー アジア・パシフィック(シンガポール)のシニア・マネージャー、サリーム・チェンは「メーカーは特に新型車やフルモデルチェンジ車で顧客の期待によく応えている。また、メーカーが「燃費」と新車魅力度の総合的な満足度に対して最も影響度が高い「外装」の魅力度向上に取り組んでいることも調査結果から明らかになっている」と述べている。

「今回からランキングを発表しているプレミアム・コンパクトカー・セグメントのモデルは特に高いスコアを獲得しており、業界全体での商品魅力度向上に貢献している。プレミアム・コンパクトカー・セグメントとエントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは多くのモデルが同じような価格帯にある。そのためエントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは、メーカーは今後、自社のモデルの差異化が難しくなる可能性がある」(チェン)

* 当報道用資料はシンガポールで発表したオリジナル(英語)の抄訳です。

* J.D. パワーが結果を発表する調査はすべて J.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。ISO9001 およびプライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ(本社: 米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ)は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。ISO9001 取得。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888 年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ(NYSE: MHP)は、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界 40 カ国に 280 カ所以上の拠点を有し、2006 年の売上高は 63 億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

<当調査に関するお問合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野、杉崎

住 所: 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル(〒105-0001)

電 話: 03-4550-8090

F A X: 03-4550-8151

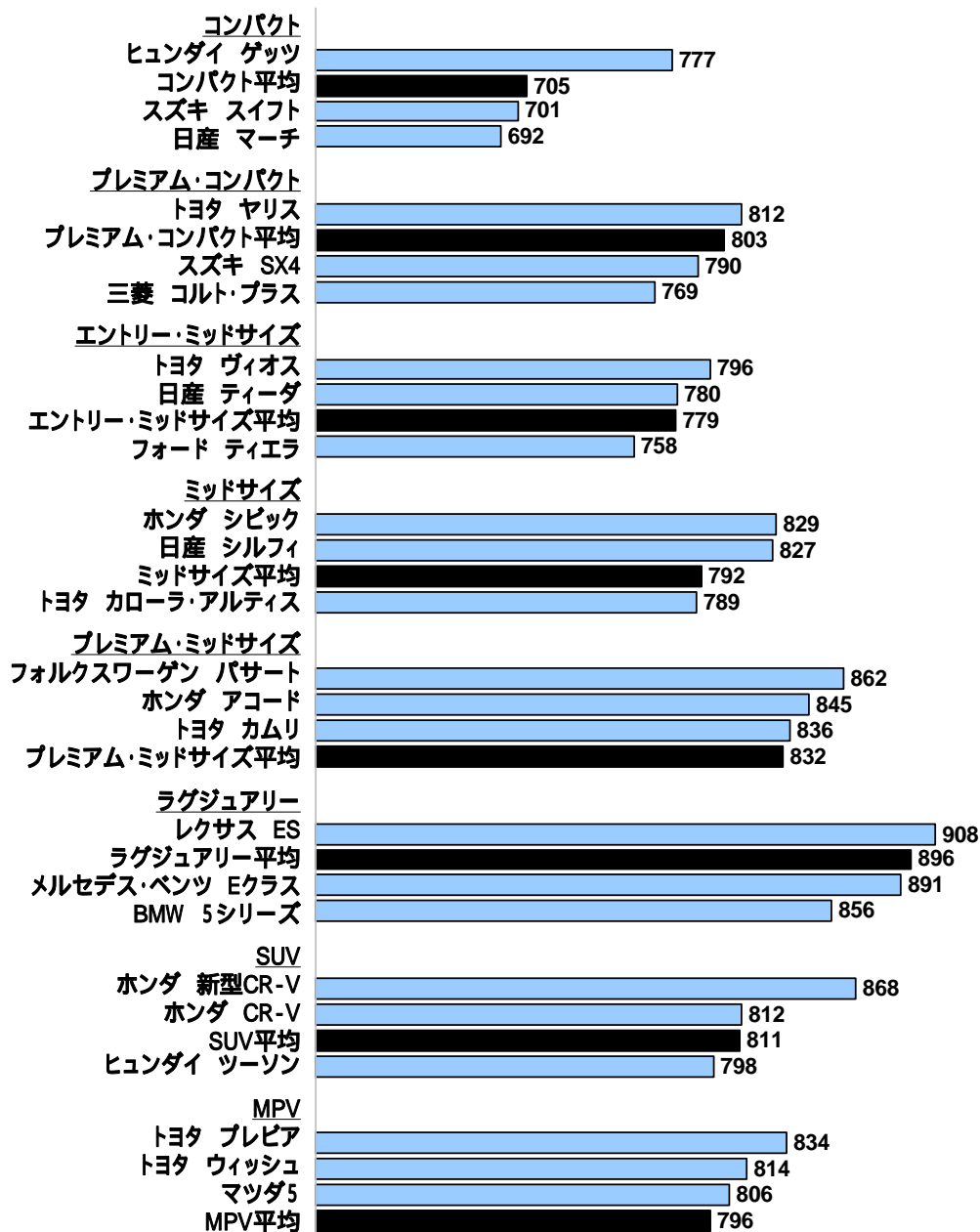
e-mail: cc-group@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株) J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年台湾自動車商品魅力度(APEAL)調査SM

セグメント別ランキング トップ3モデル (1,000ポイント満点)



注) ランキングは、必要サンプル数を満たしたモデルが該当セグメントに3モデル以上ある車両セグメントのみ実施しています。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年台湾自動車商品魅力度調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年台湾自動車商品魅力度調査SM)を明記して下さい。